

## 質問回答

NO.	質問	回答
1	仕様書別紙1 No.10 水深（等深線：M7000） 原典資料は販売されている情報であると理解していますが、今回購入するという認識でよいでしょうか。また、現状のEADASでは、50～9000mまでを一定間隔で間引いた等深線（水深（等深線：M7000））と、水深200mまでを10m間隔で間引いたもの（水深（等深線：M7000）（10m単位：水深200mまで））の2種類が収録されています。本業務における更新は、原典資料が更新されたことによるものであり、収録の方法は更新しないという理解でよろしいでしょうか。	ご認識のとおりです。
2	仕様書別紙1 No.12 世界文化遺産 原典資料として、国土数値情報と文化庁やUNESCOのホームページがあげられています。国土数値情報が平成29年のものであるため、文化庁やUNESCOのホームページを参考として、情報の時点更新を図るという理解でよろしいでしょうか。	ご認識のとおりです。
3	仕様書別紙1 No.15 航空保安無線施設 現状のEADASでは、航空保安無線施設の位置と影響範囲が収録されています。本業務では、これらの情報を更新することでよろしいでしょうか。また、原典資料の入手にあたり、国土交通省航空局に照会をかけてもよろしいでしょうか。	ご認識のとおりです。 なお、国土交通省航空局との照会については、業務実施時に環境省担当官の指示に基づいて行ってください。
4	仕様書別紙2 No.1 防衛・風力発電調整法に基づく指定区域 防衛・風力発電調整法は令和7年3月1日に施行されるものと認識しています。 同法では、告示により区域が指定されるものと理解していますが、全国でどれくらいの数の区域が指定される予定でしょうか。また、原典資料の形態は区域が示された図面であると考えてよろしいでしょうか。	指定区域の数は告示されるまで明らかになりませんが、同法の対象となりうる施設の数などの情報については報道等がなされていますのでご参考ください。 原典資料の情報は、図面による提供を前提としてください。